

全酪連会報 ⑥

2018 JUN No.633

若手後継者の本音／ 池田辰実さん

第47回
全国酪農青年女性
酪農発表大会発表者決定!!

酪農トピックス／
「第47回関東甲信越酪農青年女性会議
酪農発表大会」開催、関甲信代表は、
伊藤陽一さん・園田のリ子さん（東京）ほか

全酪連ギフト商品について

栄えある春の叙勲・褒章

日本酪農見て歩紀／
谷口学牧場 京都府南丹市



www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/



全国酪農業協同組合連合会



ZENRAKUREN

今回ご紹介する池田牧場は、東京谷農業協同組合（佐藤裕司代表理事組合長）に所属し、搾乳牛60頭、育成牛30頭を飼養しています。ご両親の代から放牧と季節分挽による酪農経営を確立し、平成11年には農林水産祭畜産部門で天皇杯を受賞されました。北海道最北の宗谷地方東部に位置する浜頓別町で、現在はおよそ100ha（借地含む）の広大な土地で放牧を主体とした酪農を営んでいます。労働力は、今回お話を伺った後継者の辰実さん（34歳）とご両親の邦雄さん、道子さんです。



池田辰実さん

今回は、北海道浜頓別町 池田牧場の後継者池田 辰実さんにお話を伺いました。

現在に至るまで

3人の姉とともに幼い頃から両親の手伝いをしながら育ってきたので、自然と将来は実家を継ぎ酪農をすることを意識していました。また両親の働く姿を見て、やればよかっただけ返ってくる仕事、やりがいのある仕事というイメージもありましたので、就農に対して迷ったことはありませんでした。酪農学園大学卒業後にすぐに実家で就農し、現在12年目になります。

2年ほど前に父より経営を引き継ぎましたが、その数年前からセミナー等で勉強を始めました。そのおかげで早くから自分のやりたい酪農がイメージでき、両親と相談のうえ経営移譲2年前に新牛舎を建設しました。

将来を見据えた新牛舎の設立

池田牧場は、牛は牛らしくというのがモットー。牛の健康を第一に考え、良質な自給粗飼料でいかにたくさんの牛乳を生産してもらうかが大事だと思っています。そのため両親が築き上げた集約型放牧というシステムは今後も変わりません。

その中で新牛舎建設に踏み切った理由は、牛たちにより良い環境を提供する為のほか、両親の高齢化に伴う雇用確保、そして乳製品製造と販売に

より力を入れる為です。

旧牛舎はつなぎ牛舎だったのですが、牛たちは夏と冬で全く違う環境（夏・放牧、冬・舎飼い）で過ごしていました。冬場でも牛たちの行動を制限せず、自由に過ごせる環境で牛乳を生産してもらうため、新牛舎はフリーストールにしました。

また、将来の雇用を考えて新牛舎では作業をシステム化させて仕事の定量化を図っています。牧場で働く皆が当事者意識を持ち、やりたいうことがあれば挑戦し可能性を広げる人たちと一緒に働ければ嬉しいのです。そして、雇用による労働力を確保し、両親を引退させてあげられる環境を早めに整備したいと考えています。

現在、新牛舎が稼働して約4年経ちますが、つなぎからフリーストールへの移行による牛の損耗は1割未満をキープできていて、夏場の放牧による好影響も思っています。一方、稼働後4年間は牛の導入をせず自家産で増頭してきたため、繁殖不良の牛も残してきました。今年からは牛の選別もできる余裕が出てきたため、繁殖成績を改善させていきたいです。



快適なフリーストール牛舎

若手後継者の

本音

Vol.32



26年に移動した新牛舎



広大な放牧地

【経営概況】

所 属 東宗谷農業協同組合(佐藤裕司代表理事組合長)
 家族構成 池田辰実さん、ご両親の邦雄さん、道子さん
 飼養頭数 搾乳牛60頭 育成牛30頭

たくさんの出会いから 学ぶ3代目の挑戦

美味しい乳製品をお客様に届けたい

両親が大切に守ってきた牧場を発展させていくのはもちろんですが、私はそれに加えて加工販売(※)に力を注ぎたいと思っています。道北エリアでは酪農の6次化はまだあまり進んでいないので、池田牧場の乳製品を通して、たくさんの方に地域を知ってもらい、故郷への恩返しになれば良いと思っています。

牛も人も快適な牧場で、消費者の方に美味しいと喜んでもらえる乳製品を製造するのが現在の目標です。そして将来は池田牧場の乳製品をお客様に直接提供できるカフェをオープンさせたいと考えています。

(※) 現在はお父様の代から製造しているアイスクリーム3種類(ミルク・いちご・チョコ)に加えて、辰実さんが開発したカタラーナ3種類(プレーン・あずき・マンゴー)を地元の商店他、インターネットやデパートの催事を利用して販売している。次回は7月11〜12日に大丸札幌にて催事開催予定。



池田牧場の生乳をたっぷりを使用したアイスとカタラーナ

人との出会いを大切に

セミナーや地域の集まり等に積極的に参加することで、知識の吸収はもちろん、たくさんの人との出会いから刺激を受け、成長させてもらっています。現在は北海道酪農青年女性会議の委員長としても活動しており、牧場にいるだけでは出

会えない全国の役員・委員の方との交流は本当に貴重だと感じています。昨年は全国大会が10年ぶりに北海道で開催され、全国から500名もの参加者が集まりました。大会はもちろんですが、懇親会でも大いに交流を深めて楽しんでもらおうと、北海道らしさを加えた企画も考えました。このようなことも、何かの形で自分の経営に戻ってくるのではないかと考えています。忙しい時、苦しい時はついこもりがちになりますが、現状を確認するために外を歩くことが大切なのだと思います。これからも人との出会いを大切にしながら、酪農経営、乳製品販売と、良い意味で忙しく充実した毎日を送りたいです。

全国の若手後継者の皆さんへ 一言!

人が集まる機会に積極的に参加して、初めて会う人と交流すると、学び得ることが必ずあると思います。私も皆さんと地域を超えて出会えることを楽しみにしています。



全国酪農青年女性 酪農発表大会

発表者決定!!

全国酪農青年女性会議（半澤善幸委員長）と本会共催の「第47回全国酪農青年女性酪農発表大会」（7月19日（木）〜20日（金）、広島県広島市「グランドプリンスホテル広島」で開催）予選を兼ねた各地域会議の発表大会が3月から4月にかけて開催されました。各地域会議の酪農経営発表の部、酪農意見・体験発表の部の代表者が決定しましたので地域大会の審査講評などをもって、ご紹介に代えさせていただきます。（全国大会発表順）

酪農経営の部



関東申信越酪農青年女性会議

長野県 伊那酪農協同組合

伊藤 陽一さん

人と牛にゆとりのある楽農を目指して

家族で酪農経営に従事する中で、特に自給飼料生産に積極的に取り組み、牛群検定や高能力牛精液の利

用による改良に力を注ぐことで、生産性向上により着実に経営所得を向上させてきたことや、地域関係者との連携した取組により地元で生産した牛乳等の販売を実現している。



東北酪農青年女性会議

福島県 福島県酪農協同組合

遠藤 明さん

地域営農集団による、飼料共同生産・共同利用のメリット
〜わが家のゆとりある経営〜

自ら飼料利用組合に参加し共同生産・共同利用を行うことで輸入乾牧草より安価に利用し、コストダウンを意識した取り組みが図られている。生産された粗飼料は、成分分析を行ったうえで給与メニューを設定

計し、無理のない牛群管理を意識している。また、自動給餌機やレール搬送式搾乳ユニットを導入し、人も牛もゆとりを意識した経営となっている。



中部酪農青年女性会議

静岡県 富士開拓農業協同組合

後藤 康弘さん

負のスパイラルからの脱却
〜経営改善へのプロジェクト〜

組合員、獣医、飼料会社担当者が構成員のプロジェクトチームを構成し、繁殖改善・牛舎環境の整備・農協TMR給食の活用による飼養管理

の向上を実直に行い、経営改善の成果を出している。地域関係者と連携した取り組みなど全国への波及が期待できる。



北海道酪農青年女性会議

北海道 足寄町農業協同組合

佐藤 伸哉さん

足寄型放牧酪農から足寄型実践牧場へのステップアップ

会社員を経てUターン就農後、集約的放牧経営と、NZ種雄牛の精液

を利用し放牧にあった牛づくりに積極的に取り組んでいる。また、ス

マートフォンを利用して出先や放牧地でも繁殖管理を行うなど作業の効率化を図っている。「地域の農の発展は町の発展」と考え、就農希望者

の研修牧場としても活躍すると同時に、それらを組織的に行う仕組みを構築したいと考えている。



西日本酪農青年女性会議
岡山県 おかやま酪農協同組合
美甘 正平さん
地域に必要とされる攻めのジャージー酪農

日本でも有数のジャージー牛の飼養が盛んな岡山県蒜山地区で総頭数130頭余りのジャージー牛を飼養、その殆どが自家育成によるもの。34haという広大な圃場でチモシー等のイネ科牧草を生産利用し、

徹底した飼養管理と相まって高収益を実現している。一方、研修生の受入などで後継者の育成に取り組むとともに、地域活動にも積極的に参加している。



九州酪農青年女性会議
宮崎県 児湯農業協同組合
本部 博久さん
わくわくする酪農経営は地域と共に!

平成22年の口蹄疫発生で全頭処分を余儀なくされたが、止む無く廃業する農家の分までとの使命感にかられ、被災農家の中で最初の経営再開を実現した。その後、繁殖管理ソフトや分娩監視カメラの導入、定期的

な繁殖検診、削蹄などの取り組みにより、繁殖成績向上と経営改善を実現し、更に地域の和牛生産を含めた家畜生産活動の活性化に大きく貢献している。



西日本酪農青年女性会議
鳥取県 大山乳業農業協同組合
川本 恵子さん
牛から人へ「これからもお世話します!」

進学した鳥取県立農業大学校で主人と知り合い結婚。酪農は全くの未経験で無我夢中の毎日だったが、

所主催の「売れる試食販売講座」を受講するなど「販売」にもかかわり続けていきたい。

今はご子息が後を継いでおり、今後は長年続けてきた研修生の受入経験をもとに、「地域の後継者、新人ヘルパーの研修牧場」として関わっていきたいと考えている。また、普及



東北酪農青年女性会議
宮城県 宮城県酪農農業協同組合
柴田 耕太郎さん
逃げるは恥だが役に立つ
サラリーマンの経験を活かして

宮城県畜産協会で10年間勤務後、就農。サラリーマン時代に学んだ多くの経験や知識を酪農経営に活かしている姿勢は聴衆を引き付ける。地元の間と手を組み、酪農で地域全

体を発展させようと取り組む姿や、娘が後継者になるための努力は酪農の将来性や明るい未来を大いに感じさせる。

酪農意見・体験の部



九州酪農青年女性会議

熊本県 熊本乳牛農業協同組合

坂本龍一さん

200%の復興を目指して

平成28年4月の熊本地震に自宅が被災され、大きな困難に見舞われたが、それを機にご家族とは作業体系を見直し、関係者とも連携し設備改善に取り組むなど経営改善だけでなく、ゆとりある酪農経営を

現している。そして、これからも地元食材を生かしたアイス開発や地域貢献に取り組むなど、復旧に留まらず200%の復興を目指すという強い思いを持たれている。



北海道酪農青年女性会議

北海道 広尾町農業協同組合

すなこだ まどか
砂子田 円佳さん

広尾町にマドリンありー大きな架け橋でありたい

広尾町で新規就農されたご両親のもとで育ち、新しく牧場立ち上げのチャンスに恵まれ一人での牧場経

営をスタートした。大きなプレッシャーの中、心のよりどころとなつたのが地元的女性たちによる励まし



のエール。その経験から現在は、酪農女子が集まるSAKURA会、酪農音頭を作った豊栄会や酪農女性サミットなど種々の活動の参加・開催

に取り組んでいる。将来は地元の広尾牛乳を作り、地域との架け橋になりたいと考えている。



関東甲信越酪農青年女性会議

埼玉県 埼玉酪農農業協同組合

園田のり子さん

今までそしてkokokoから

酪農家に嫁ぎ、義母さんが体調を崩してから必死になって牛舎で作業。52歳で乳がんが見つかり、酪農の仕事は制限したものの、6次産業化の夢を持ちカフエkkokoから

を開業。お客様を温かくお迎えできる店を目指している姿は、年配の酪農家の方のみならず、若い酪農家が遠い将来を考えるうえでも、手本になる姿である。



中部酪農青年女性会議

石川県 石川県酪農農業協同組合

久保貴光さん

走り続ける酪農を目指して
生乳を使ったパン作り

内向的な性格を心配した両親に参加させられた農業青年グループの研究旅行がきっかけで、積極的に人と関わり合いを持つようになる。幼少期の体が弱かったことを想い、「栄

養のある安全な食べ物」を食べさせたい母の愛情が『ミルク屋さんのくぼちゃんパン』に発展し、先進的な6次産業を実現している。

見て歩 紀

No. 231

谷口学牧場
京都府南丹市

健康な牛、 長命連産のための品種改良

地域の紹介

谷口学牧場が所属する京都農業協同組合（JA京都）は、49戸の酪農家戸数（平成29年8月現在）を擁し、出荷乳量は18,884t（平成29年度）となっています。

また、牧場のある京都府南丹市日吉町は、京都府のほぼ中央に位置し、「京都のへそ」と言われています。南丹市は平成18年に合併した

大きな市で、北は福井県と滋賀県、南は兵庫県と大阪府と隣接しています。緑豊かな自然に恵まれた地域で、大半を丹波山地が占め、北部を由良川が、中・南部を淀川水系の桂

川（大堰川）が流れ、その間にいくつもの山間盆地が形成され、南部は亀岡盆地につながっています。取材に伺った日も、初夏を思わせる快晴の中、新緑のまぶしいさわやかな風の吹く自然豊かな風景に、思わず仕事を忘れてドライブ気分になりました。



▲ 牛舎入り口

▲ 谷口学さん

牧場の歴史

谷口学牧場は、ご主人の学さんが学校を卒業後、北海道で牛の精液を製造販売する会社に勤めておられた時に、牛群改良の目的とその楽しみを知り、その当時のお父さんの稲作

と酪農の複合農家から自身は酪農専業として跡を継ぐ事を決意する事になりました。

そこで、4年間勤められた精液の会社を退職し、半年間は北海道の酪農家で、次いでカナダのオンタリオ州にある日本人が経営する牧場でも

う半年研修し、酪農家としてのノウハウや、改良の重要性などを身に着け、酪農家としてやっていく気持ちを高めていきました。

▲ フレームのある雄大な牛群

昭和62年に10頭の乳牛と共に、お父さんから2町の田んぼを引き継ぎ、現在の場所です。就農、同年、北海道で精液販売をしている際に知り合われた、奥さんの和子さんとご結婚され、お子さんにも恵まれています。

ご結婚翌年の平成元年、その当時としては京都で初めてのフリーストール牛舎を建設しました。フリーストール牛舎を建設するにあ

たって、近隣では例が無かった事もあり、長野と群馬などの優良農家を視察され、中でも最もうまくいっている牛舎の構造や、寸法を参考にし、現在のフリーストール牛舎を建設されたそうです。

経営の概況

①家族構成

谷口牧場の家族構成は、ご主人の学さん（61才）と奥さんの和子さんの2人で全ての作業をこなされています。

②飼養頭数

現在の飼養頭数は、経産牛28頭、未経産牛18頭の46頭です。後継牛となる育成牛は全て牧場内で飼養管理されています。

③作業分担

作業分担は、学さんが搾乳を含む作業全般、和子さんが哺育・育成と搾乳補助を担当され、お2人で力を合わせて日々の作業をされています。

④給与飼料及び自給飼料

搾乳牛の給与飼料は、フリーストール牛舎では搾乳牛にTMRと購入乾牧草を給与していますが、育成牛には自給飼料も給与しています。



▲ 品種改良への尽力のあと

2町歩の圃場でイタリアンを2回収穫し、その後スーダンを収穫する事で圃場不足をまかなっています。

経営の特徴・こだわりと地域とのつながり

①自家産牛100%

「健康な牛で長命連産させてい！」という思いから、北海道で培った育種改良の知識を生かし、品種改良に力を入れてきました。導入や外部預託のリスクから、外部導入ゼロ、育成も全頭自家育成にしています。



▲ ハイクオリティミルクアワード

経産牛頭数は全国平均よりも少ないので、牛群検定も行い繁殖管理には充分気を使っています。実際に牛舎を見ても、施設は古いですが、フレームの雄大な搾乳牛が、ゆったりとしている環境に素晴らしいものを感じました。

② 経営のカギは長命連産を目指した育種改良

学さんは、数年前に後進に会長の座を譲るまでの10年以上京都の改良同志会・ホルスタインクラブの会長を務めてきました。育種改良と聞くとイコール共進会となり、美人コンテストのためのもの、という印象を持たれる方もいらっしゃるでしょうが、そもそも育種改良の目的は「儲かる牛に改良す



▲ 環境美化・乳質最優秀

る」事にあると思います。繁殖成績や体形の維持に優れた牛が多いほど、長命連産が可能になり、経営の安定化につながります。今までに、生涯乳量10万kg以上を2頭・エクセレント牛を7頭作出できた事は私の自信となっています。

③ 高い乳質

牛舎内の事務所に入ると、たくさんさんのトロフィーや賞状が並んでいました。共進会の素晴らしい功績の片りんも見られるのですが、中にはJ A京都から送られた「環境美化・乳質改善部門 最優秀賞」の賞状や、近畿生乳販連からの「ハイクオリティミルクアワード」の楯も飾られており、高い乳質・環

境意識を持たれている事が分かります。

牛群検定をされているので毎月牛群のチェックは欠かさず行ない、「全頭・全乳房出荷」しながら高い乳質を誇っているのは、特筆すべき事です。

以前は、近隣の小学校から見学が来て、子供たちが牛に触れ合う場を提供していたそうですが、毎日飲む牛乳の生産現場としては、これ以上ない環境だったのではないかと想像できます。

今後の目標・夢

今後も乳牛改良に取り組み、1頭でも多くのエクセレント・生涯乳量10万kgを作出したい。京都府内の共進会には変わらず参加したいが、しばしば行っていた遠方までの共進会参加は卒業して、自分も60歳を過ぎ、息子も希望だった研究職につけた事もあり、元々、趣味でありましたサッカー・野球・ラグビーなどを大阪などへ観戦しに行く事が出来る様になった、と言っておられました。

来年は大阪も会場となっていますが、ラグビーワールドカップが日本にやってきます。その観戦が今から

楽しみ、と嬉しそうに話しておられました。

終わりに

最後に、全国の酪農家の皆様に対して、酪農の楽しみは「牛づくり」です。人に感動してもらえるような改良を、経営改善につながる改良を、楽しみながら取り組んでみてはいかがでしょうか？というメッセージを残されました。

この度は、雨天前で畑作業のある大変お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。谷口学牧場の皆様のご健康とご発展をお祈りいたします。(A・T)



▲ 谷口学さん

東京
支所発「第47回関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会」開催
関甲信代表は、伊藤陽一さん、園田のり子さん

関東甲信越酪農青年女性会議（小森崇宏委員長；栃木県）は、平成30年3月22日(木)23日(金)の両日、新潟市「ANAクラウンプラザホテル新潟」において、管内の酪友・関係者137名の参加を得て、第47回酪農発表大会を開催しました。

大会は、江部広大副委員長（新潟県）の総司会、秋山順子副委員長（埼玉県）の開会宣言で開会しました。市堀篤樹委員（埼玉県）による綱領唱和のあと、小森委員長より主催者の挨拶がありました。来賓として農林水産省北陸農政局生産部畜産課岡本琢二課長（経営の部審査委員長）、新潟県農林水産部畜産課朝比奈均課長補佐、公益社団法人新潟県畜産協会阿部悟専務理事、新潟県酪農業協同組合連合会小林辰一代表理事会長より祝辞がありました。

酪農経営の部は、今年度は残念なことに栃木県の発表予定者が出場を辞退されたことから、1名の発表となりましたが、長野県代表の伊藤陽一さんが、優秀な経営の成果を発表されました。伊藤さんの経営は、経産牛47頭規模、草地や飼料畑を計22ha確保し、自給粗飼料をメインとした給与体系で、預託牧場も利用しますが、後継牛のほとんどを自家育成するといった経営でした。

意見・体験の部は、新潟県代表の中野浩一さん、茨城県代表の戸辺久一郎さん、埼玉県代表の園田のり子さんの3名の方が発表されました。それぞれの立場で経験・体験してきたこと、現在情熱を持って取り組ん

でいること、これからの目標等々を発表され、いずれも心を動かされる素晴らしい発表でした。発表終了後は、発表者と会場の参加者との意見交換会（質疑応答）が行われ、1日目の日程を終了しました。夕刻より懇親会が開催され、席を移動しての酪農談議に花が咲き、また恒例のビンゴ大会で大いに盛り上がりしました。

2日目は、審査講評と表彰式が行われました。酪農経営の部は、農地を借り受けて集積し自給飼料生産に積極的に取り組んでいること、牛群検定や高能力牛精液を利用することで改良に努め産乳成績を着実に上げていること等々が評価されて、長野県の伊藤陽一さんに北陸農政局長賞が授与されました。意見・体験の部では、審査は困難を極めたようですが、お義母さんが体調を崩されてから必死に牛舎作業、乳がんと診断され酪農の仕事が制限されてからは、6次産業化の夢を持ち起業セミナーやケーキ教室に通いカフェ開業を実現。このような姿は、幅広い年代の酪農家の方々のお手本となると評価されて、埼玉県の園田のり子さんに北陸農政局長賞が授与されました。

次の開催県である茨城県の園部仁実委員の閉会の挨拶で、2日間の大会日程を終了しました。

伊藤さん、園田さんは、7月19日(木)～20日(金)に広島市で開催されます第47回全国酪農発表大会で、関東甲信越代表として発表されます。全国大会でのお2人のご活躍をお祈りするところです。（I.Y）



▲ 園田さん



▲ 伊藤さん



▲ 発表者4名（前列左2人目から伊藤さん、中野さん、戸辺さん、園田さん）と関甲信役員の方々



▲ 大会会場の様子

大 阪
支所発西日本酪農青年女性会議
「平成30年度 通常総会」が開催される

去る4月20日(金)、西日本酪農青年女性会議(砂子委員長、9会員、構成人数789名)は、アートホテル大阪ベイタワー(大阪市弁天)において、「平成30年度通常総会」を開催しました。

上程された第1号議案から第3号議案は原案どおり承認されました。その中で、半世紀余りに亘り我が国の酪農発展に寄与してきた加工原料乳生産者補給金等に関する暫定措置法が廃止され、平成30年4月からは改正された畜産経営の安定に関する法律に基づき生産者補給金等が交付されるなど酪農組織を取り巻く

環境が大きく変わろうとしており、全国の酪農家とネットワークでつながる当会議の存在意義は益々増してくるとし、平成30年度の活動方針を、酪農に携わる仲間同士の絆を深め、相互研鑽し、酪農基盤の強化に資することとしました。

また、第4号議案の「役員の改選に関する件」で、新しい役員が承認され、今後2年間の執行体制が決まりました。また、会員事務局にも異動等により入れ替わりがありました。(K.I)



▲ 新旧役員・事務局の皆さん

父の日に
牛乳を贈ろう!
今年は
6/17



お父さん、牛乳を飲んで
リラックス&快眠生活!!

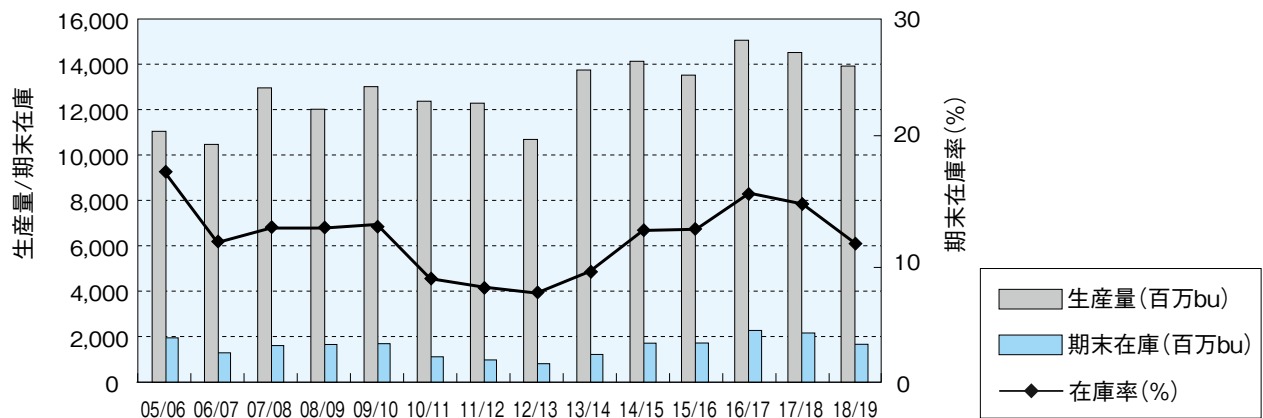
牛乳は骨を丈夫にするカルシウムを豊富に含むだけでなく、神経や感情を安定させる働きも持っています。

全国酪農青年女性会議

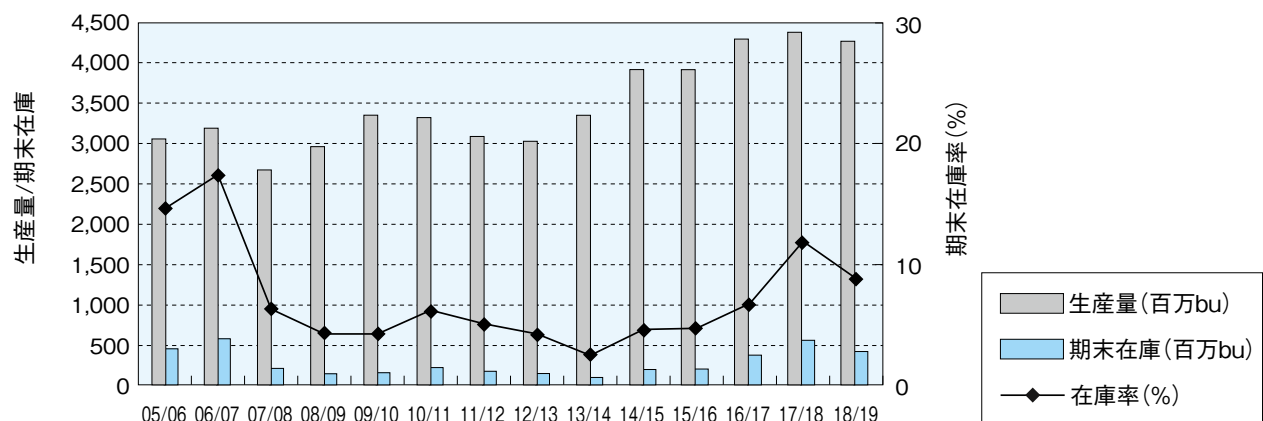


5月10日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想		17/18年産	18/19年産
	作付面積(百万エーカー)	90.2	88.0
	単 収(ブッシェル/エーカー)	176.6	174.0
	生 産 量(ブッシェル)	146億400万	140億4,000万
	需 要 量(ブッシェル)	147億6,500万	145億9,000万
	期末在庫(ブッシェル)	21億8,200万	16億8,200万
	在 庫 率	14.8%	11.5%
トウモロコシ 相場動向	18/19年産トウモロコシは作付面積減少もあり、生産量は前年比96%程度と発表された。一方需要量は前年比99%となったため在庫率は11.5%となった。米国の作付状況は、平年並みまで進捗し落ち着きを見せている。天候相場の中、作付状況に落ち着きが見られるとはいえ、天候に反応しやすい相場であるため、注意が必要である。		
大豆粕相場動向	18/19年産米国産大豆は、生産量見通しはほぼ予想通りとなった。需要合計は前年度対比で1億7,500万ブッシェル減少したものの期末在庫は事前予想平均を下回ったため、一時急騰したが、米中通商問題に解決の兆しが見えないことから上値は重い。大豆粕は米中通商問題の影響から中国産大豆粕は高騰している。併せて国産大豆粕も高騰しており、今後はこの問題の行方が相場を左右すると思われる。		
糟糖類	【一般フスマ】 値上げ前の引取需要から晩砕量の増加に伴い発生量も増えていたが、先取りも一段落した中、需要が堅調なため若干タイト感が出てきている。		
	【グルテンフィード】 国内スターチメーカーではこれからの需要期に向け工場稼働率が上昇し、発生量が増加している。今後は国内の天候の影響から異性化液糖の消費量が増減する。需給は適正に推移している。輸入品については強含みで推移している。		
海上運賃	パナマックス型市況は、各水域で引き合いが活発になってきている。太平洋水域では豪州積みの石炭需要、大西洋水域では南米積みの穀物需要と原油相場が上昇していることから海上運賃は堅調に推移している。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

平成30年5月

北米コンテナ船 フレート	PNW（米国西海岸北部）出しの船腹は引き続きタイトな状況が続いています。また、業界再編やアライアンスの拡大などにより、特定の船社やサービスにブッキングが集中し始めています。このため、6月1日付で各船社からGRI（海上運賃一斉値上げ）の通知が出ています。
ビートパルプ	【米国産】新穀の作付面積については、大きな影響を及ぼす要因は特になく概ね昨年並みと見ており、生産量についても特段の変動はないと考えられます。一部では低温や降雪の影響で播種がやや遅れている地域もありますが、現段階では懸念すべき状況とは言えません。 【中国の動向】米国産の輸入解禁後、安定的に引き合いがあるようです。中国国内産のビートパルプの生産量よりも需要量は明らかに多いため、今後も輸入への需要は堅調、もしくは増加する傾向にあると思われます。
アルファルファ	【ワシントン州】主産地コロンビアベースンでは、昨年同様、春季の気候が冷涼であったことから、南部での収穫作業は例年並みからやや遅い5月上旬頃からの開始を予定しています。作付面積については昨年に比べ減少しています。昨年のチモシーが高値で推移したため、チモシーへ転作した圃場が増えたためとされています。現在2番刈りが進行中のPSW（米国西海岸南部）では産地価格が上昇しており、その影響でPNW（米国西海岸北部）においても相場は上昇すると考えられます。加えてワシントン州近郊の酪農家から引き合いも底堅く、産地相場を押し上げる要因の一つとなりそうです。 【オレゴン州】クラマスフォールズでは灌漑水の不足が懸念される状況ですが、当地ではおよそ90%のアルファルファ生産農家の圃場は地下水を利用できるため、大きな問題にはならないと見込んでいます。また、いくつかの生産農家は作付面積を増やしているようです。クリスマスバレーでは新穀の生育は、今のところ例年通りの状況で6月中旬ごろ刈り取りが開始される見込みです。 【カリフォルニア州】カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは2番刈の収穫が終盤を迎えており、早い圃場では5月上旬頃から3番刈りの収穫が開始される見込みです。1番刈りは一部雨当たりの被害が発生していますが、概ね良品が発生しています。2番刈りについては収穫期の天候に恵まれたため、高品質なものが多く発生しています。1番刈りはすでにサウジアラビアを中心に、一部中国も旺盛に買い付けを行っており、昨年の同時期と比較して産地価格は\$30～50 / ST程上昇しています。カリフォルニア州中部から北部では1番刈りが進行中です。作付面積は減少の見込みです。近年課題であった水不足については、今年は大きな懸念はなさそうです。
チモシー	【米国産】旧穀の産地在庫は2番刈の低級品を除いて、ほぼ成約済となっています。今後は新穀まで成約済みの在庫で需要を満たしながら、繰越在庫はほぼない状況で新穀へ移行することになりそうです。新穀については、17年産の産地相場の高騰を背景に、作付面積は前年比10%程度増加しています。生育は順調に進んでおり、天候に大きな変動がなければ、例年並みの6月上旬頃から1番刈の収穫が開始される見込みです。作付面積が増加していることから収穫量も増え、高止まりしている産地相場についても、新穀の収穫が順調に推移すれば軟化していくことが期待されます。 【カナダ産】日本および韓国からの需要は引き続き堅調であり、産地在庫はすべて成約済となっています。新穀については、南部レスブリッジ地区では17年産の作柄が良好で産地相場も高値で推移したことから、穀類からチモシーへの転作が進み、作付面積は17年産比+10%程度増える見込みです。中部クレモナ地区およびその他の産地については、作付面積は前年並みとされています。今冬から今春にかけては例年並みの気候であったことから、収穫開始時期についても、現時点では例年通り7月中旬以降に開始されるものと予想されます。
スーダングラス	日本からのスーダン需要は引き続き堅調に推移しています。17年産の産地在庫については、上級品についてはすべて成約済となっており、中～低級品については若干の在庫があるといった状況です。5月1日付のインペリアルバレーの作付面積は前年同月比116%となっています。小麦の相場が低迷していることに加え、冬場に野菜を生産している生産農家も相場が低迷していることから、早めにスーダンの作付けに切り替えていることが要因のようです。18年産スーダンの産地相場は、17年産の繰り越し在庫が少ない中での新穀スタート当初の買付けの動き、並びに17年産は高値で推移した米国産チモシーの新穀相場の動向に影響を受ける展開になりそうです。
クレイグラス	クレインは全酪連の登録商標です。 日本および韓国からの需要は引き続き堅調に推移しています。17年産の産地在庫についてはすべて成約済となっており、追加の買付は難しい状況です。4月中旬時点の作付面積は前年同月比130%となっており、生産量が増える見込みで供給面の状況は好転すると期待されています。生育は順調で、すでに4月下旬から新穀の収穫作業が開始されています。作付面積及び生産量が増加する見込みであることから、産地相場は軟化することが期待されましたが、懸念されていた通り、特に韓国からの新穀への引き合いが殺到しており、産地相場は昨年より高値でスタートしています。一方で、未だ産地相場は完全に形成されているわけではなく、今後刈り取り番手が進むにつれ、供給力が増していくことで、徐々に産地相場は弱含んでくるものと多くのサプライヤーが予想しています。今後は、例年以上に産地相場の動向に注意が必要となっていきます。
ストロー類	日本および韓国からのストロー需要は引き続き堅調に推移しています。ライグラスストローについてはすべて成約済で新穀まで追加買いは難しい状況ですが、フェスクストローについてはまだ一部在庫はあるようです。堅調な需要が続き、産地在庫はほぼ成約済みであることから、今後、産地価格は大きな変動がないまま新穀まで推移していくと予想されています。
オーツヘイ	オーツヘイへの需要は日本のみならず中国および韓国から引き続き堅調で、各サプライヤーとも出荷は順調に進んでいるようです。現在のところ、中国および韓国からの需要は価格が安価な中～低級品に集中しており、日本向けとは棲み分けができている状況です。産地では早くも18年産の作付けがスタートしています。東豪州および南豪州では17年産は上級品が多く収穫され、生産農家の採算も比較的良好であったことから作付面積は前年並みとなる見通しです。西豪州については、収穫期の降雨の影響により17年産の相場が低迷したことから、大麦、小麦、菜種など、他の作物への転作も目立ち、18年産の作付面積にやや減少するものと予想されています。

加工肉



DLG-40G

税込4,320円(本体4,000円)

- トマトとオリーブ入りソーセージ100g×1個
 - フライシュケゼ80g×1個
 - あらびきボークウイナー150g×1個
 - 生ハム(肩ロース)40g×1個
 - ペッパーシンゲン72g×1個
 - 辛口ボチキウイナー150g×1個
- 〈アレルギー物質〉乳/大豆/豚肉
お取扱期間 6/15~7/27



GT-400

税込4,320円(本体4,000円)

- 熟成糸巻ロースハム360g
 - ばら焼豚200g
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/豚肉
お取扱期間 6/15~7/27



SP-310

税込3,240円(本体3,000円)

- ももハム310g
 - ベーコン280g
- 〈アレルギー物質〉豚肉
お取扱期間 6/15~7/27



SP-510

税込5,400円(本体5,000円)

- 熟成糸巻ロースハム320g
 - ベーコン280g
 - 焼豚310g
- 〈アレルギー物質〉小麦/大豆/豚肉
お取扱期間 6/15~7/27



R-051

税込5,940円(本体5,500円)

- ローストビーフ(国産牛)200g×2個 ソース付き
- 〈アレルギー物質〉牛肉/乳成分/小麦/大豆/豚肉/鶏肉/りんご
お取扱期間 6/15~7/27



焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシンプルに味付けして国産牛の旨みをそのまま閉じ込めました。国産牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。

【製造者】大山ハム株式会社
(鳥取県米子市)



OC-40

税込3,908円(本体3,619円)

- 北海道フランク220g×1個
 - 北海道認証ベーコン80g×1個
 - あらびきウイナー110g×1個
 - ハーブウイナー135g×1個
 - 行者にんにくウイナー120g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- 〈アレルギー物質〉乳/豚肉
お取扱期間 6/20~8/31



OC-50

税込5,184円(本体4,800円)

- ペッパーボーク320g×1個
 - 北海道認証ベーコン300g×1個
 - あらびきウイナー110g×1個
 - ガーリックウイナー110g×1個
 - バジリコフランク240g×1個
 - あらびきフランク200g×1個
- 〈アレルギー物質〉豚肉
お取扱期間 6/20~8/31



その他



全酪牛 バーベキューセット

税込4,860円(本体4,500円)

- 国産牛ホルモン200g
 - 国産牛レバー200g
 - 国産牛サーロイン焼肉用400g
- 〈アレルギー物質〉牛肉
お取扱期間 6/15~8/31

※荷姿は発砲スチロール箱に商品を直接お入れしてお届けとなります。
※熨斗は梱包資材の関係上、箱の中へのしを入れる内のしのみ対応できます。



全酪牛とは酪農を知り尽くした全酪連が自信を持ってお薦めする牛肉です。「酪農家が愛情込めて育てたホルスタインの“牛肉本来の凝縮した旨味”を皆様の食卓へ…」そんな思いから全酪牛は生まれました。ジューシーな肉質が特徴の「サーロイン」、プリプリとろける食感が自慢の「ホルモン」、鮮度抜群の「レバー」の3種を、ご家族みんなで楽しめるボリュームたっぷりのセットにしました。

【製造者】株式会社ナンチク(鹿児島県曾於市)



らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場セット

税込3,980円(本体3,686円)

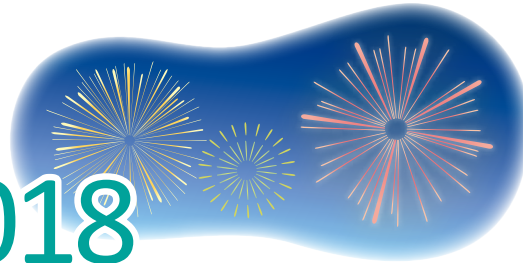
- 牧場の想い(カマンベールチーズ)140g
 - あそ野プレーン(熟成チーズ)100g
 - スライスベーコン80g
 - あか鶏スモークチキン100g
 - バジリコソーセージ150g
- 〈アレルギー物質〉乳/豚肉
お取扱期間 6/15~8/31



阿蘇ミルク牧場で飼育している乳牛の搾りたての乳を使用した牧場自慢のチーズと熊本県産ブランド銘柄鶏「あか鶏」を贅沢に使用したこだわりのソーセージ・スモークチキン等の逸品を詰め込みました。

【販売者】らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場(熊本県阿蘇郡西原村)

ZENRAKU Summer Gift 2018



乳製品



Heart FarmセレクションA



(全酪乳製品セット)

税込4,000円(本体3,704円)

- HFチーズ225g×1個
- HF6Pチーズ108g×1個
- HFとろけるスライスチーズ126g×1個
- HFスライスチーズ126g×2個
- HFスモークチーズ120g×1個
- ＜アレルギー物質＞乳
- お取扱期間 6/15～8/31



Heart FarmセレクションB



(全酪乳製品セット)

税込5,500円(本体5,093円)

- HF6Pチーズ108g×2個
- HFとろけるスライスチーズ126g×1個
- HFスライスチーズ126g×1個
- HFスモークチーズ120g×1個
- ぬるチーズ150g×1個
- HFチーズ225g×2個
- ＜アレルギー物質＞乳
- お取扱期間 6/15～8/31



東毛酪農 カマンベール3個セット

税込2,991円(本体2,770円)

- カマンベールチーズ100g×3個
- ＜アレルギー物質＞乳
- お取扱期間 6/15～8/31



おいしいチーズを作るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ(ナチュラルチーズ)を熟成した食べ頃の状態にて密封パックしました。パッケージを開けた時が『食べ頃』で、やさしい味わいが楽しめます。「第4回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト」のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝く、珠玉の逸品です。

【製造者】東毛酪農協同組合
(群馬県太田市新田分野井町)

麺



島原手延素麺細造り 26束(木箱入)

税込3,812円(本体3,530円)

- 細造り素麺1束50g(乾麺)×26束
- ＜アレルギー物質＞小麦
- お取扱期間 6/15～8/31



島原地方に伝わる手延べ技術を駆使して造られるとうめんは、モチモチとした食感とのど越しが特徴の麺です。造りたての風味をお楽しみください。

【製造者】株式会社素兵衛屋(長崎県南島原市)



全酪めんセット



税込4,104円(本体3,800円)

- 全酪冷し中華10食
- 九州冷し担々麺6食
- ＜アレルギー物質＞小麦/大豆/りんご
- お取扱期間 6/15～8/31



レモン果汁を配合したさわやかな冷し中華10食と甘さと辛みを生かした清涼感のあるコクと旨みを有するスープの九州冷し担々麺6食とのセットです。

【製造者】江崎製麺有限公司(福岡県筑後市)

●詰合せ内容・商品デザイン及び配列についてはお断りなく一部変更する場合があります。●商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。●掲載商品の価格には、配送料が含まれております。●掲載写真はイメージです。



八ヶ岳野辺山高原 レアチーズケーキギフト 12個入り

税込**3,500円**(本体3,241円)

- プレーン12個
(アレルギー物質) 乳
- お取扱期間 6/15~8/31



コクのあるまろやかな味のレアチーズケーキに仕上げました。風味豊かな高原のさわやかなデザートをお楽しみください。

[販売者] 株式会社ヤツレン(長野県南佐久郡)



パティシエの りんごスティック12本入

税込**2,716円**(本体2,515円)

- パティシエのりんごスティック×12本
(アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆/りんご
- お取扱期間 6/15~8/31



青森県産リンゴのシロップ漬けを大きめにカットし、スポンジ生地と一緒にパイで包み焼き上げたスティックタイプのアップルパイです。

[製造者] 株式会社ラグノオささきAB(青森県弘前市)



飛騨アイスギフト VI-PK

税込**4,500円**(本体4,167円)

- バニラ120ml×2個
- ストロベリー120ml×2個
- 抹茶120ml×2個
- チョコレート120ml×2個
- かぼちゃ120ml×2個
- 紅茶120ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
- お取扱期間 6/15~8/31



飛騨産の生乳と生クリームを使用し、一般的なバニラ・抹茶・ストロベリー・チョコレート他、岐阜県産宿雛かぼちゃ・紅茶などの原料を使用したバラエティに富んだアイスクリームの詰め合わせです。

[製造者] 飛騨酪農農業協同組合(岐阜県高山市)



奥中山アイスSセット

税込**4,374円**(本体4,050円)

- バニラ130ml×2個
- イチゴ130ml×2個
- ブドウ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵

奥中山アイスIセット

税込**5,670円**(本体5,250円)

- バニラ130ml×2個
- イチゴ130ml×2個
- ブドウ130ml×2個
- 洋なし130ml×2個
- コーヒーマー130ml×2個
- 抹茶130ml×2個
(アレルギー物質) 乳/卵
- お取扱期間 6/15~8/31



岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。SセットとIセットの2種類のセットをご用意しております。

[製造者] 奥中山高原農協乳業株式会社
(岩手県二戸郡一戸町)



長崎カステラセット 2本入り

税込**3,024円**(本体2,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦/乳/卵

長崎カステラセット 3本入り

税込**4,104円**(本体3,800円)

- 牛乳風味370g×1本
- チーズ風味370g×1本
- 蜂蜜風味370g×1本
- ※10等分カットタイプ
(アレルギー物質) 小麦/乳/卵
- お取扱期間 6/15~8/31



牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。2本入りと3本入りの2種類のセットをご用意しております。

[製造者] 有限会社杉谷本舗
(長崎県諫早市)



ロールケーキと大福の 詰め合わせ

税込**3,456円**(本体3,200円)

- ロールケーキ264g×1個
- 生クリーム大福100g×2個
- 抹茶クリーム大福100g×2個
- きなこクリーム大福100g×2個
(アレルギー物質) 卵/乳/小麦/大豆/ゼラチン
- お取扱期間 6/15~8/31



しっとり食感のスポンジでミルク風味豊かなホイップクリームを巻いたロールケーキと、なめらかな餅で生クリーム入りのホイップクリームと粒あんを包み込んだ生クリーム大福、抹茶風味のなめらかな餅で抹茶風味のホイップクリームと粒あんを包み込んだ抹茶クリーム大福、きなこ風味のなめらかな餅で国産きな粉・沖縄黒糖を使用したきなこホイップクリームと粒あんを包み込んだきなこクリーム大福を詰め合わせたギフトセットです。

[製造者] 大山乳業農業協同組合(鳥取県東伯郡琴浦町)

●全国酪農農業協同組合連合会

- 本所 酪農部 〒108-0014港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F
(東京支所) TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025
- 札幌支所 〒060-0003札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769
- 仙台支所 〒980-0021仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384
- 名古屋支所 〒460-0008名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614
- 大阪支所 〒532-0011大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪ヨドバシビル6F
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899
- 福岡支所 〒812-0016福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7F
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

●取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にをご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. **冷凍 冷蔵** マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. **簡易包装 全** マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. **普通 短冊** マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

栄えある 春の叙勲・褒章

政府は4月29日、春の叙勲・褒章受章者を発表しました。
全酪連関係者からは、次の方々が褒章受章の名誉に輝きました。心からお祝い申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。



●黄綬褒章●

迫 千穂子氏

現 ㈱ECS ファーム 監査役
現 鹿児島県酪農業協同組合青壮年女性会議 副委員長
現 日置市農業委員会 委員
前 鹿児島県農村女性リーダーネットワーク 会長
前 鹿児島県酪農業協同組合女性部 部長



●黄綬褒章●

谷 啓司氏

前 京都農業協同組合 酪農部会長
前 京都農業協同組合 監事



●黄綬褒章●

中六角 保広氏

現 岩手県ホルスタイン改良同志会 会長
現 東北地区ホルスタイン改良協議会 会長
現 全国ホルスタイン改良協議会 理事



乳牛産地情報

平成30年6月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇐……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	50~60	→	札幌管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計100.4%、累計で100.5%、苫小牧管内月計で100.1%、累計で99.8%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩予定の牛が中心となります。例年であれば夏産みを嫌い弱含みで推移する時期ですが、5月のこの地域の乳牛市場が横這いで推移したため、6月も初妊牛は横這いで推移するものと思われます。育成牛も市場への出品頭数が少ない中で、購買客は多い状況のため、こちらはやや強含みで推移するものと思われます。乳量成績や体型審査成績を持った高能力牛が出てくる地域ですので、ご希望あれば、お問い合わせください。
	初妊牛	80~90	→	
	経産牛	45~50	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	60~70	→	根釧管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.7%、累計で101.4%、中標津管内月計で101.1%、累計で101.8%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月下旬~9月分娩牛が中心となります。5月の乳牛市場の平均相場はやや下げとなりましたが、下のクラスの牛の引き合いが弱く価格を大きく下げた事が要因となります。上のクラスの相場は大きく変わっていません。夏分娩の牛が流通する時期ではありますが、引き続き道内外の大型牧場の導入、クラスター事業による牛舎が完成した事による導入などが見込まれる事から相場は堅調に推移するものと思われます。
	初妊牛	85~95	→	
	経産牛	60~70	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	55~65	→	帯広管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.7%、累計で104.0%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月~9月上旬分娩予定の牛が中心となります。F1腹が中心で、選別腹・和牛受精卵移植腹もお時間いただければ探せる資源状況となっています。この地域の乳牛市場が6月より8月まで毎月1回の開催となることから、1市場での出品頭数が多くなり、相場がやや弱含みで動くことも予想されますが、道内外問わずメガ・ギガファームの導入状況によっては、大きく左右されることも考えられ、6月の初妊牛相場は横這いで推移するものと思われます。和牛受精卵移植牛の高値は続いており、本牛・授精卵ともに上物となってくると、120万円以上で動くものと思われます。
	初妊牛	85~95	→	
	経産牛	50~60	⇐	
道北管内	育成牛(10-12月令)	50~60	→	道北管内の5月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で99.2%、累計で99.5%、北見管内では月計で100.6%、累計で101.1%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8~9月分娩の腹が中心の動きとなります。今月からは夏時期の分娩牛が中心となって動くことから相場がやや弱含みと予想されますが、引き続き道内での導入需要は活発で、相場は大きくは下がらないと思われます。資源状況としてはF1腹、雌雄選別腹共に一定の出回り頭数があるものの、後継牛確保を目的とした需要も強く、雌雄選別腹については高値維持の横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	83~88	⇐	
	経産牛	50~60	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	55~65	→	道内の5月中旬までの生乳生産量前年比は101.5%、累計で101.9%の実績となっております。6月の初妊牛動向といたしまして、8月分娩腹中心で取引されます。例年、この時期の導入は夏場分娩となる事から都府県は初妊牛導入を手控え、初妊牛相場も弱含みで推移致しますが、ここ数年道内の生乳生産意欲が旺盛であること、道内外の大型農家の導入が継続して行われていることから大きな価格の下落は無いものと思われます。夏分娩以降の、初妊牛導入計画の話も聞こえてきております。秋口の導入予定がありましたら早めの注文をお願いいたします。
	初妊牛	85~95	→	
	経産牛	55~65	⇐	

今月の表紙

今月の表紙は、「第8回酪農いきいきフォトコンテスト」(第46回全国発表大会にて開催)で応募頂いた作品「一緒に写真撮ろう!僕を食べないでね!」(愛知県 片岡真里氏 撮影)です。



編集後記

- 6月は「牛乳月間」です。
- 初夏の空気が舞い込み、歩くだけで汗ばむくらいの天気が続いているためか、つい、冷蔵庫の中の牛乳に手がのびてしまいます。全国酪農青年女性会議では各地で「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーンを実施。期間中、さまざまな牛乳乳製品消費定着化運動を展開します。積極的に参加して牛乳をPRしていきましょう。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成30年6月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 6月号 No.633

● 編集・発行人 川辺昭司

● 発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003 <http://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



牧場の風景

学校法人 多田野幼稚園(東北)6歳 渡邊 陽翔

今月の入賞作品は…

学校法人 多田野幼稚園(東北)6歳の渡邊 陽翔さんの作品です。

のびのびした線で大きな牛さんとそれを取り囲む人たちが笑顔で描かれています。いつまでも鑑賞していたいと思わせるような、ほのぼのとする楽しい作品となりました。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第44回らくのうこどもギャラリー」で全国720点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議

第 47 回

全国酪農青年女性 酪農発表大会

平成30年

7/19(木) ▶ 20(金)

日 程

7月19日(木)

- 13:00~13:50 開会式
- 13:55~16:15 酪農経営発表
- 16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
- 16:40~18:15 酪農意見・体験発表
- 19:20~21:30 懇親会

7月20日(金)

- 9:00~ 9:10 いきいきフォトコンテスト表彰
- 9:10~ 9:35 酪農経営発表質疑応答
- 9:35~10:00 酪農意見・体験発表質疑応答
- 10:15~11:35 審査講評・表彰式
- 11:35~11:40 新旧役員紹介
- 11:40~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **13,000 円** (大会・懇親会まで)

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

◆ 会場・宿泊

「グランドプリンスホテル広島」

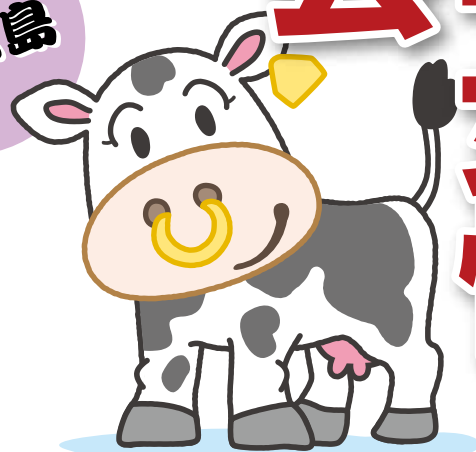
〒734-8543

広島県広島市南区元宇品町 23-1

TEL. 082-256-1111



in 広島



◆ アクセス



- 無料シャトルバス
広島駅から約30分
- 鉄道の場合
広島駅からタクシーで約20分
広島駅から広島バスで約40分
広島電鉄 元宇品口電停から徒歩約15分
- 車の場合
広島港から車で約3分
広島空港から約60分
- 飛行機でお越しの場合
広島空港から広島駅まで約45分
- 船の場合
宮島よりホテル前桟橋まで高速船で約26分

大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒108-0014 東京都港区芝 4-17-5 全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003